第 11 講　院政と武士の中央進出

1　平安時代Ⅵ～院政の開始と展開～

①後三条天皇の親政（しんせい）―摂関政治の終焉（しゅうえん）―

A　**後三条天皇**（在位 1068 年～ 72 年）

摂関家を外戚（がいせき）とせず，摂関家にとらわれない人材登用（源師房（もろふさ）・**大江匡房（おおえのまさふさ）**ら）による**親政**を行った。また，早期に白河（しらかわ）天皇に譲位（じょうい）し皇統を摂関家から独立させた。

B　**延久（えんきゅう）の荘園整理令（1069 年，国司に任（まか）せず朝廷で厳正（げんせい）に採決）**

あ　**1045〔寛徳（かんとく）２〕年以降の新立（しんりつ）荘園の停止**

い　1045 年以前の荘園でも**券契（けんけい）**不明のものは停止

う　1045 年以前の荘園でも国務の妨（さまた）げとなるものは停止

☆石清水八幡宮（いわしみずはちまんぐう）領は 34 カ所中 13 カ所が停止される。

C　**記録荘園券契所（きろくしょうえんけんけいじょ）〔記録所〕**の設置（**1069 年**）

あ　**摂関家の荘園も一部整理し天皇権威が回復**，皇室に荘園の寄進が集中。

い　公領〔国衙領〕が回復，**国司〔受領（ずりょう）・遙任（ようにん）〕の台頭を促（うなが）す。**

う　朝廷公認の荘園を確定，荘園公領制の発展を促す。

D　**宣旨枡（せんじます）**の制定

E　一国平均役（いっこくへいきんやく）の導入

荘園・公領の別なくすべての土地に賦課する制度を導入し，財政の再建をはかった。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈 ***Note*** 〉

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

②院政

A　**院政の開始（1086 年，白河天皇が堀河天皇に譲位）**

上皇〔太上天皇〕として天皇を後見，**院庁**において政治の実権を掌握。

☆院政を行う上皇を“**治天の君**”という。

B　院政の実施

あ　**白河上皇**　（堀河・鳥羽・崇徳天皇）

い　**鳥羽上皇**　（崇徳・近衛・後白河天皇）

う　**後白河上皇**（二条・六条・高倉・安徳・後鳥羽天皇）

え　後鳥羽上皇（土御門・順徳・仲恭天皇）

C　**院庁**の構成⇒**院近臣**＝反摂関家の**中下級貴族（受領層），后妃・乳母の一族など。**

あ　職員　**院司**

い　命令　**院庁下文，院宣**

う　武力　**北面の武士（白河上皇）**

西面の武士（後鳥羽上皇）

D　**院の経済基盤**

あ　**院分国（＝院の知行国）からの収入**

☆院分国の制度＝院や女院が一国の国司推薦権と公領〔国衙領〕からの税収の大半を得る。

☆**知行国の制度**＝権門勢家を**知行国主**とし，**国司推薦権と公領〔国衙領〕からの税収の大半を与える。**

い　**寄進地系荘園からの収入**

☆**鳥羽上皇の八条（女）院領，後白河上皇の長講堂領。**

E　**院の仏教保護**（白河・鳥羽・後白河の３上皇は，出家して**法皇**となる）

造寺造仏（**六勝寺**），寺社参詣（**高野詣・熊野詣**），盛大な法会などに執心。

☆**六勝寺＝法勝寺（白河天皇）**，尊勝寺（堀河天皇），最勝寺（鳥羽天皇），円勝寺（待賢門院），成勝寺（崇徳天皇），延勝寺（近衛天皇）

↓↓↓

財政難を招き政治が腐敗（成功・重任の流行），僧兵の横暴により社会不安が増大。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

F　**僧兵**の横暴

白河法皇の天下三不如意（てんかさんふにょい）　―『源平盛衰記（げんぺいせいすいき）』より―

１　賀茂川（かもがわ）の水　　２　双六（すごろく）のサイ　　３　山法師（やまほうし）

あ　種類

南都（なんと）〔**興福寺**〕＝春日（かすが）神社の神木（しんぼく）（榊（さかき））を掲げる**奈良法師**

北嶺（ほくれい）〔**延暦寺**〕＝日吉（ひえ）神社の神輿（しんよ）を担（かつ）ぐ**山法師**

☆**園城寺（おんじょうじ）**〔**三井寺（みいでら）**〕の僧兵は**寺法師（じほうし）**という。

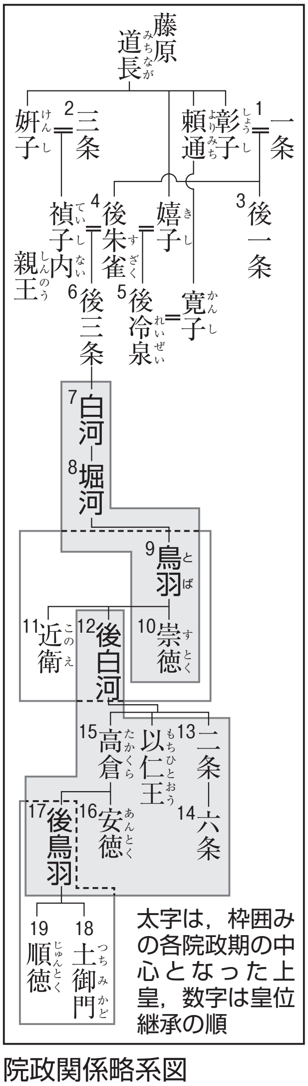
い　活動

国司との抗争，朝廷・院に対する**強訴（ごうそ）**，大寺院間の合戦（かっせん）など。

う　結果

社会が混乱，上皇・天皇・貴族の仏教勢力に対する無力さが露呈（ろてい）。

☆**武士による僧兵の鎮圧が，地方武士の中央進出を招（まね）く。**



院政関係略系図

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

２　平安時代Ⅶ～武士の中央進出～

①桓武平氏〔うち伊勢平氏〕の台頭⇒院と結ぶ

A　**平正盛**

白河上皇の北面の武士となり中央に進出。海賊討伐で名を上げ，出雲国では清和源氏の棟梁である源義親の乱を鎮圧（1107 年～ 08 年）。

B　**平忠盛**（正盛の子）

瀬戸内海の海賊追討などで活躍し，鳥羽上皇の院庁別当となる。西国の国司を歴任し，日宋貿易を開始。

C　**平清盛**（忠盛の子）

保元・平治の乱を経て**太政大臣**となる（1167 年）。のち**後白河法皇を幽閉し平氏政権を確立し，日宋貿易を大規模に展開。**

---

②保元の乱（1156 年）

A　**原因**

鳥羽法皇の死を契機に，天皇家・摂関家の内部対立が表面化。

B　経過

源平各武士が両陣営に組織され，戦闘を展開。

C　関係図

	天　皇　方		上　皇　方
天皇家	**後白河天皇（弟）**		**崇徳上皇（兄）**
摂関家	藤原忠通（兄）		藤原頼長〔悪左府〕（弟）
平　氏	**平　清盛**（甥）	ＶＳ	平　忠正（叔父）
	重盛		
源　氏	**源　義朝**（子）		源　為義（父）
	（兄）		為朝〔鎮西八郎〕（弟）

☆天皇方の実質的采配者は**信西〔藤原通憲〕**

D　結果

崇徳上皇方が敗北，後白河上皇による院政の開始。

☆崇徳上皇は讃岐へ配流，平忠正・源為義は斬首となる。

E　**意義**

中央政界の抗争に武士の力が必要不可欠と判明，武士の中央政界進出を決定づける。

☆京都を舞台にした初の合戦であったため，皇族･貴族たちに衝撃を与えた。

© RECRUIT HOLDINGS

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③平治(へいじ)の乱（1159 年）

A　**原因**

保元の乱後，**後白河上皇の院近臣(いんのきんしん)の対立に源平二大棟梁(とうりょう)の対立が絡(から)み発生。**

B　経過

平清盛が熊野詣(くまのもうで)の留守中に，**藤原信頼(のぶより)・源義朝**が挙兵。院庁の三条殿や内裏を襲い後白河上皇・二条天皇を幽閉したうえ，**信西〔藤原通憲〕**を自殺に追い込む。事件を知った平清盛が急ぎ帰京し，源平(げんぺい)間で戦闘が展開された。

C　関係図

	平　氏　方		源　氏　方
武　家	**平　清盛**		**源　義朝**
	重盛	ＶＳ	義平(よしひら)〔悪源太(あくげんた)〕
			頼朝(よりとも)
院近臣	**信西〔藤原通憲〕**		**藤原信頼**

D　結果

源氏方が敗北，平氏が政権担当への強力な足掛かりをつかむ。

☆源頼朝は**伊豆国(いずのくに)**の蛭ヶ小島(ひるがこじま)に配流となる。

E　**意義**

中央政界の抗争を武士の力でのみ解決，平清盛の地位と権力が高揚(こうよう)。

☆翌年には，武家で初の公卿(くぎょう)となる。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 11 講　院政と武士の中央進出　テスト

1　摂関家を外戚とせず，源師房・大江匡房らを登用して親政を行った天皇とは？

①　後朱雀天皇　②　後冷泉天皇　③　後三条天皇　④　白河天皇

2　記録荘園券契所〔記録所〕の職員を何というか？

①　資人　②　宿直　③　蔵人　④　寄人

3　後三条天皇が新たに導入した，荘園・公領の別なく賦課する税とは？

①　官物　②　一国平均役　③　関銭・津料　④　本途物成

4　堀河天皇に譲位した白河上皇が院政を始めた年は？

①　1069 年　②　1083 年　③　1086 年　④　1095 年

5　院政〔太上天皇〕を行う上皇を俗に何というか？

①　氏の長者　②　治天の君　③　公方　④　大御所

6　反摂関家の受領や后妃・乳母の一族などからなる，上皇の側近たちを何というか？

①　院近臣　②　院司　③　北面の武士　④　西面の武士

7　一国の国司推薦権と公領〔国衙〕からの税収の大半を，院や摂関家など有力者に与える制度を何というか？

①　公地公民制　②　荘園公領制　③　知行国制　④　新制

8　鳥羽上皇が集積した荘園群を何というか？

①　殿下渡領　②　八条（女）院領　③　長講堂領　④　禁裏御料

9　「六勝寺」のうち，白河天皇が建立した寺院とは？

①　法勝寺　②　尊勝寺　③　最勝寺　④　円勝寺

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

10　日吉神社の神輿を担ぎ強訴する比叡山延暦寺の僧兵を，俗に何というか？

①　堂衆　②　奈良法師　③　山法師　④　寺法師

11　瀬戸内海の海賊討伐で名を上げ，桓武平氏としての日宋貿易を開始した，鳥羽上皇の院庁別当とは？

①　平維衡　②　平正盛　③　平忠盛　④　平忠正

12　1156 年，保元の乱に敗れ讃岐国に配流された上皇とは？

①　鳥羽上皇　②　崇徳上皇　③　後白河上皇　④　高倉上皇

13　保元の乱で兄の藤原忠通と争い敗死した，摂関家の人物とは？

①　藤原教通　②　藤原宗忠　③　藤原頼長　④　藤原信頼

14　保元の乱で後白河天皇方の実質上の采配者であった人物とは？

①　藤原忠通　②　平清盛　③　源義朝　④　信西〔藤原通憲〕

15　1159 年，平治の乱に敗れ尾張国で殺害された清和源氏の棟梁とは？

①　源為義　②　源義朝　③　源為朝　④　源義平

解答

1	③	2	④	3	②	4	③	5	②
6	①	7	③	8	②	9	①	10	③
11	③	12	②	13	③	14	④	15	②

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。